



七夕の短冊に託した実習生の祈り。

企画・編集 澁谷 健司

7月に入りました。季節は巡り、梅雨になりましたが、技能実習生の来日に関しては、4月以降、時が止まったままの状態が続いています。日本国内の経済活動は徐々に動き始め、飲食店に加えて、映画やスポーツなどの娯楽施設にも人が戻りつつある中、外国人の入国に関しては、国の対応に時間が掛かっているのが現状ではないでしょうか。実習生がいない校舎は活気がなく、本当に寂しいものです。「1日も早く、また、皆さんと一緒に日本語学習に取り組みたい!」と、気持ちははやるばかりです。来日が直前で延期された実習生の皆さんも、きっと同じ気持ちでしょう。

一方で、ウイルス感染拡大防止の観点からすれば、外国人の入国は、特に慎重にならざるを得ない問題でもありません。万全を期した入国対策が整い、各国で日本への入国を待ち望んでいる実習生の皆さんが、安心して技能実習に取り組める日が、一日も早く来ることを願うばかりです。

## あじけんスコープ Vol.87

～短冊に願いを込めて～



7月7日(火)、研修センター中庭に、今年も七夕の竹が設置されました。

短冊に願いを込めたのは、先月号でお伝えした帰国が困難な為、一時的に研修センターに宿泊している実習生の皆さん。滞在者数が少ないので、今年は、寂しい七夕まつりとなりましたが、小雨の降る中、皆さん思い思いの願いを短冊に込めていました。例年だと、「お金持ちになりたいです。」「日本語が上手になりたいです。」等の願いが多いのですが、今年は、1日も早い帰国の実現や、コロナの終焉を願う短冊が目立っていました。

## 今月の実習生番外編



作業現場のネギ畑の前でガッツポーズをとる陳非(チン ヒ)さん

今回は、4月に3年間の実習期間が満了したものの、コロナ禍により帰国が困難となったため、在留資格を「特別活動」に切り替えて、現在は実習先の農家で働きながら帰国を待つ元中国人実習生の陳非(チン ヒ)さんとの取材インタビューをお届けします。

Q: 3年間の実習はどうでしたか?

A: お陰様で順調な3年でした。

Q: 実習期間中一番辛かったことは何ですか?

A: 日本語が上手く話せないことが辛かったです。

Q: 今一番したいことは何ですか?

A: 次の実習生が来るまでは、ここで頑張ってお仕事したいです。そして、中国に帰ったら、来日時に5歳、現在は8歳に成長した娘に会いたいです。

念願の帰国を目前にして、コロナ禍の為に日本滞りが延長したにもかかわらず、大変前向きな気持ちで、今、自分が出来ることに精一杯取り組む陳さん。

陳さん、体に気を付けて、お仕事頑張って下さい!

# あじけん流日本語授業

## ～実習生向け オンライン教材～

今回のあじけん流日本語授業は、教務課主任栗又が、実習生向け日本語教材を紹介いたします。今、日本語教育の中でも、オンライン教材がいろいろな団体、個人によって開発されています。今回は、それらのオンライン教材、または動画などの一部をご紹介します。

最近の日本語教育界では、「生活する」という言葉がキーワードになっています。文法にそって学習するだけではなく、「日本で生活するうえで必要と思われる日本語」を勉強できる教材が増えています。また、日本語だけではなく、日本で生活するために必要な情報、知っておくといいい情報なども、外国人にもわかりやすく説明しているサイトもあります。ぜひ実習生にもご紹介ください。

当校でもこういった実生活に近い教材を利用しながら、実習生のみなさんの日本語力の向上を目指していこうと思っています。

○文化庁「生活者としての外国人」のための日本語学習サイト  
「つながるひろがる にほんごでのくらし」(6か国語)

<https://tsunagarujp.bunka.go.jp/>

生活の場面に特化し、そこで必要な基本的な日本語の表現・言葉の学習を目的にしています。動画が中心となっているので、学習する言葉がこういった場面で使われるか分かりやすい構成になっています。日本語のレベルに応じて、または、関心のある場面を選択して、学び始めることができます。

日本語以外に、生活に必要な情報も得られるようになっています。



11

ぼう さい  
防 災

Disaster Prevention

つた にほんご  
わたしを伝える日本語2019年度文化庁「生活者としての外国人」のための  
日本語教育事業—地域日本語教育実践プログラムA  
Issued by Chiba City International Association under the  
project commissioned by the Agency for Cultural Affairs.

© 2020 Chiba City International Association

○ちば多文化協働プロジェクト

【わたしを伝える日本語】

<https://www.youtube.com/channel/UCfLo0AzIaSdiAbik5ZUif0w>

生活に身近なテーマで、自分の言いたいことを言える日本語が学習できるようになっています。サイトにある教材(ダウンロード無料)と一緒に使うとしっかりと学習できます。

2019年度 文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業【千葉市国際交流協会】

○NIHONGO e な (学習教材検索用)

<https://nihongo-e-na.com/jpn/>

日本語の勉強をしたい人に役立つサイトや、ツールを紹介しています。「会話」や「読解」「文法」「文化」などのテーマから選ぶことができます。



※ 当校ホームページ <http://www.ajiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバーもご覧になれます